

いったん別のことを行なう「介入問題」


「手がかり再生」のイラスト16個を見せられたあと、「介入問題」が行なわれます。これは認知機能検査の配点には含まれませんが、取り組まないと失格になります。イラストを見てから回答するまでに、いったん別のことを行ない、少し時間を空けても「記憶が持続しているかどうか」が試されているのです。

「介入問題」を行なうときの注意点は、「集中しすぎないこと」です。一所懸命やろうとしてこれに集中しすぎると、先ほど覚えたばかりのイラストを忘れやすくなります。間違えてもかまわないのでリラックスして取り組みましょう。

問題用紙 1

これから、たくさん数字が書かれた表が出ますので、私が指示をした数字に斜線を引いてもらいます。

例えば、「1と4」に斜線を引いてくださいと言ったときは、



4	3	1	4	6	2	4	7	3	9
8	6	3	1	8	9	5	6	4	3

と例示のように順番に、見つけただけ斜線を引いてください。

※ 指示があるまでめくらないでください。

出典：警察庁Webサイト 認知機能検査について

「介入問題」の進め方

「介入問題」は2段階で行なわれます。

まず「2つの数字」が指定されますので、その数字を上の方の左から斜線で消していきます。仮に「2と3」と言われたら、「2」と「3」を斜線で消していくのです。時間は30秒間です。

次に「1回目とは別の3つの数字」が指定されますので、同様にその数字を上の方の左から消していきます。時間は同じく30秒間です。

出題

「それでは、『3と5』に斜線を引いていただきます。」(30秒間)

「それでは、『1と7と9』に斜線を引いていただきます。」(30秒間)

回答用紙 1



9	3	2	7	5	4	2	4	1	3
3	4	5	2	1	2	7	2	4	6
6	5	2	7	9	6	1	3	4	2
4	6	1	4	3	8	2	6	9	3
2	5	4	5	1	3	7	9	6	8
2	6	5	9	6	8	4	7	1	3
4	1	8	2	4	6	7	1	3	9
9	4	1	6	2	3	2	7	9	5
1	3	7	8	5	6	2	9	8	4
2	5	6	9	1	3	7	4	5	8

※ 指示があるまでめくらないでください。

出典：警察庁Webサイト 認知機能検査について